

開催	番	馬名	性	齢	歴	体重	人	単勝	間	父	父系統	父母父系統	母父	母父系統	祖母父系統
2019	5	インディチャンプ	牡	4	11	472	3	6.4	6	ステイゴールド	Tサンデー	欧ファイントップ	キンカメ	欧キングマンボ	欧セントサイモン
良	14	ダンプレミアム	牡	4	9	506	1	2.4	3	ディーブインパクト	ディーブ	欧リファール	Intikhab	欧ロベルト	欧デインヒル
35.3/34.2	7	ペルシアンナイト	牡	5	20	498	6	17.6	6	ハービンジャー	欧デインヒル	欧ネイティヴD	サンデーS	サンデーS	欧ヌレイエフ
開催	番	馬名	性	齢	歴	体重	人	単勝	間	父	父系統	父母父系統	母父	母父系統	祖母父系統
2018	1	ステルヴィオ	牡	3	8	478	5	8.7	6	ロードカナロア	欧キングマンボ	米ストームバード	ファルブラヴ	欧フェアリーキング	サンデーS
良	2	ペルシアンナイト	牡	4	13	492	3	6.5	4	ハービンジャー	欧デインヒル	欧ネイティヴD	サンデーS	サンデーS	欧ヌレイエフ
35.0/34.5	3	アルアイン	牡	4	13	520	4	6.6	3	ディーブインパクト	ディーブ	欧リファール	EssenceOfDu	米APインディ	米ヒムヤー
開催	番	馬名	性	齢	歴	体重	人	単勝	間	父	父系統	父母父系統	母父	母父系統	祖母父系統
2017	18	ペルシアンナイト	牡	3	8	488	4	8.8	4	ハービンジャー	欧デインヒル	欧ネイティヴD	サンデーS	サンデーS	欧ヌレイエフ
稍重	11	エアスピネル	牡	4	14	480	2	4.2	4	キンカメ	欧キングマンボ	欧ノーザンD系	サンデーS	サンデーS	欧ノーザンテース
34.6/35.2	4	サングレーザー	牡	3	10	482	7	15.0	3	ディーブインパクト	ディーブ	欧リファール	Deputy Minister	米ヴァイスR	欧ターントウ
開催	番	馬名	性	齢	歴	体重	人	単勝	間	父	父系統	父母父系統	母父	母父系統	祖母父系統
2016	16	ミッキーアイル	牡	5	18	484	3	5.9	7	ディーブインパクト	ディーブ	欧リファール	Rock of Gibraltar	欧デインヒル	欧ヌレイエフ
良	8	イスラポニータ	牡	5	18	480	2	4.8	4	フジキセキ	Pサンデー	欧セントサイモン	Cozzene	欧カロ	米ミスプロ系
34.4/35.6	15	ネオリアリズム	牡	5	15	502	7	14.0	13	ネオユニヴァース	Dサンデー	欧エタン系	Meadowlake	欧セントサイモン	米インリアリティ系
開催	番	馬名	性	齢	歴	体重	人	単勝	間	父	父系統	父母父系統	母父	母父系統	祖母父系統
2015	16	モーリス	牡	4	11	508	4	5.7	24	スクリーンヒーロー	欧ロベルト系	サンデーS	カーネギー	欧サドラーズ系	欧リファール
良	10	フィエロ	牡	6	16	506	2	5.1	3	ディーブインパクト	ディーブ	欧リファール	Danehill	欧デインヒル	欧ノーザンD
34.6/33.8	5	イスラポニータ	牡	4	13	480	1	3.2	3	フジキセキ	Pサンデー	欧セントサイモン	Cozzene	欧カロ	米ミスプロ系
開催	番	馬名	性	齢	歴	体重	人	単勝	間	父	父系統	父母父系統	母父	母父系統	祖母父系統
2014	12	ダンシャーク	牡	6	28	444	8	18.1	4	ディーブインパクト	ディーブ	欧リファール	Caerleon	欧ニジンスキー	欧ネヴァーB系
良	8	フィエロ	牡	5	11	508	3	5.6	3	ディーブインパクト	ディーブ	欧リファール	Danehill	欧デインヒル	欧ノーザンD
33.7/34.8	3	グランデツァ	牡	5	13	498	9	18.6	6	アグネスタキオン	Pサンデー	米ボールドR	Marju	欧ノーザンD	欧ハビタット系
開催	番	馬名	性	齢	歴	体重	人	単勝	間	父	父系統	父母父系統	母父	母父系統	祖母父系統
2013	5	トーセンラー	牡	5	19	460	2	4.7	6	ディーブインパクト	ディーブ	欧リファール	Lycius	欧ミスプロ	欧サドラーズ
良	4	ダイワマッジョーレ	牡	4	15	440	3	7.5	3	ダイワメジャー	Pサンデー	欧ノーザンテース	Law Society	欧リポー	欧ハイペリオン
35.1/34.1	13	ダンシャーク	牡	5	23	444	1	3.8	4	ディーブインパクト	ディーブ	欧リファール	Caerleon	欧ニジンスキー	欧ネヴァーB系

【血統傾向】

外回りコースで行われるレースですが、
スローペースからの瞬発戦ラップにはなった事が無く、
持続ラップ～消耗戦ラップで展開する傾向があるレースです。

それでも、33秒台後半～34秒台前半の末脚を要求されるため、
条件戦レベルならともかく、最高峰クラスのG1レースとなれば、
米国型血統が生み出す「持続力」よりも、欧州的な持久力が生み出す
末脚の伸びが重要になると考えられます。

実際に、好走馬の血統を見てみますと、
欧州色の強い配合馬が圧倒的多数を占めておりました。

・父・母父・祖母父の3ラインのうち2ラインが欧州型血統
↓↓↓
京都開催過去7年の連対馬14頭中13頭が該当。

「2023該当馬」

- ・シュネルマイスター
- ・ジャスティンカフェ
- ・セリフォス

- ・ソーヴァリアント
- ・ダノンザキッド
- ・バスラットレオン
- ・マテンロウオリオン
- ・レッドモンレーヴ

・3着以内馬21頭の内9頭がディーピンパクト産駒。
今年ディープ直仔は出ておりませんが、ディープの孫
(父の父ディーピンパクト、母父ディーピンパクトに注目)

「2023該当馬」

- ・エエヤン
- ・エルトンバローズ
- ・バスラットレオン
- ・レッドモンレーヴ

・優勝経験のあるリピーターは、
4L系統内に3ラインの欧州型血統を保持。

「2023該当馬」

- ・シュネルマイスター

- ・セリフォス
- ・ソーヴァリアント
- ・マテンロウオリオン

・母父か祖母父が欧州型のノーザンダンサー系
3着以内馬21頭中15頭が該当。

「2023該当馬」

- ・シュネルマイスター
- ・セリフォス
- ・ソーヴァリアント
- ・ダノンザキッド
- ・バスラットレオン

開催	番	馬名	性	齢	歴	体重	人	単勝	間	タイム	3角	4角	上り3F	上順	MI	TM	前走				人	着	脚質	上順	
																	G	場	芝	距離					
2019	5	インディチャンプ	牡	4	11	472	3	6.4	6	1.33.0	4	5	33.9	4	2	3	G2	東京	芝	1800	良	3	3	先行	6
良	14	ダノンプレミアム	牡	4	9	506	1	2.4	3	1.33.2	4	3	34.2	7	1	4	G1	東京	芝	2000	良	3	2	先行	7
35.3/34.2	7	ペルシアンナイト	牡	5	20	498	6	17.6	6	1.33.3	10	12	33.7	2	4	5	G2	東京	芝	1800	良	4	4	先行	4
開催	番	馬名	性	齢	歴	体重	人	単勝	間	タイム	3角	4角	上り3F	上順	MI	TM	前走				人	着	脚質	上順	
2018	1	ステルヴィオ	牡	3	8	478	5	8.7	6	1.33.3	4	5	34.1	8	10		G2	東京	芝	1800	良	3	2	差し	1
良	2	ペルシアンナイト	牡	4	13	492	3	6.5	4	1.33.3	7	7	33.9	6	2		G3	東京	芝	1600	良	4	5	中団	7
35.0/34.5	3	アルアイン	牡	4	13	520	4	6.6	3	1.33.5	2	2	34.5	12	3		G1	東京	芝	2000	良	5	4	先行	7
開催	番	馬名	性	齢	歴	体重	人	単勝	間	タイム	3角	4角	上り3F	上順	MI	TM	前走				人	着	脚質	上順	
2017	18	ペルシアンナイト	牡	3	8	488	4	8.8	4	1.33.8	15	13	33.9	2	10	13	G3	東京	芝	1600	不	2	5	中団	6
稍重	11	エアスピネル	牡	4	14	480	2	4.2	4	1.33.8	7	6	34.6	7	3	2	G3	東京	芝	1600	不	1	1	先行	3
34.6/35.2	4	サングレーザー	牡	3	10	482	7	15.0	3	1.33.9	10	9	34.4	3	4	4	G2	京都	芝	1400	重	2	1	差し	1
開催	番	馬名	性	齢	歴	体重	人	単勝	間	タイム	3角	4角	上り3F	上順	MI	TM	前走				人	着	脚質	上順	
2016	16	ミッキーアイル	牡	5	18	484	3	5.9	7	1.33.1	1	1	35.6	11	6	3	G1	中山	芝	1200	良	2	2	逃げ	15
良	8	イスラボニータ	牡	5	18	480	2	4.8	4	1.33.1	6	5	35.0	5	2	2	G3	東京	芝	1600	良	4	2	差し	3
34.4/35.6	15	ネオリアリズム	牡	5	15	502	7	14.0	13	1.33.2	2	2	35.6	11	15	11	G2	札幌	芝	2000	稍	5	1	逃げ	3
開催	番	馬名	性	齢	歴	体重	人	単勝	間	タイム	3角	4角	上り3F	上順	MI	TM	前走				人	着	脚質	上順	
2015	16	モーリス	牡	4	11	508	4	5.7	24	1.32.8	9	8	33.1	2	6	5	G1	東京	芝	1600	良	1	1	先行	8
良	10	フィエロ	牡	6	16	506	2	5.1	3	1.33.0	8	8	33.3	6	3	1	G2	京都	芝	1400	良	1	2	追込	1
34.6/33.8	5	イスラボニータ	牡	4	13	480	1	3.2	3	1.33.0	12	13	33.0	1	2	4	G1	東京	芝	2000	良	6	3	差し	4
開催	番	馬名	性	齢	歴	体重	人	単勝	間	タイム	3角	4角	上り3F	上順	MI	TM	前走				人	着	脚質	上順	
2014	12	ダノンシャーク	牡	6	28	444	8	18.1	4	1.31.5	11	10	34.1	1	2	6	G3	東京	芝	1600	良	1	7	先行	11
良	8	フィエロ	牡	5	11	508	3	5.6	3	1.31.5	7	6	34.4	7	6	1	G2	京都	芝	1400	良	2	3	追込	1
33.7/34.8	3	グランデツァ	牡	5	13	498	9	18.6	6	1.31.7	3	3	34.8	10	16	16	G2	東京	芝	1800	良	2	5	先行	12
開催	番	馬名	性	齢	歴	体重	人	単勝	間	タイム	3角	4角	上り3F	上順	MI	TM	前走				人	着	脚質	上順	
2013	5	トーセンラー	牡	5	19	460	2	4.7	6	1.32.4	15	14	33.3	1	2		G2	京都	芝	2400	良	2	3	差し	7
良	4	ダイワマジジョーレ	牡	4	15	440	3	7.5	3	1.32.6	3	4	34.1	6	4		G2	京都	芝	1400	稍	4	2	差し	4
35.1/34.1	13	ダノンシャーク	牡	5	23	444	1	3.8	4	1.32.7	8	6	34.1	6	1		G3	東京	芝	1600	良	1	1	先行	5

【脚質傾向】

京都開催過去7年の3着以内馬21頭の脚質は

逃げ:1頭(1勝)

4角5番手以内:9頭(2勝)

中団からの差し:7頭(1勝)

後方から追込み:5頭(3勝)

つまり、中団より前で競馬した馬が16頭。

ただし、逃げ切ったのは1頭のみで、
狙いは「テンパターン30～50」に該当する馬。

今年の「テン30～50」に該当するのは・・・

「テン30」

・ビーアストニッシモ

「テン50」

・イルーシヴパンサー

・エエヤン

・エルトンバローズ

・セリフォス

- ・ソウルラッシュ
- ・ダノンザキッド

また、追込み馬の場合は、上り2位以内の末脚が必要になります。

今年のメンバーで上り2位以内の末脚を使えそうなのは

- ・シュネルマイスター
- ・ジャスティンカフェ
- ・レッドモンレーヴ

G1マイルCS 2023 全頭診断

・イルーシヴパンサー

父:ハーツクライ

母父:キングカメハメハ

祖母父:米ストームキャット

4L系統に欧ノーザンダンサー系なし。

4歳から明け5歳までがピークだったようで、
近走はメンバー上位の上りを使えずに凡走続き。
血統面でも推し材料もなく、今年のメンバーに入ると見劣りする存在。

・エエヤン

父:シルバーステート

母父:米ミスプロ系

祖母父:米ダンチヒ

中山マイルで3連勝して重賞制覇。
直線が長いコースでメンバーが揃ったG1では・・・

・エルトンバローズ【上位争い】

父:ディープリランテ

父母父:欧ネヴァーバンド系

母父:ブライアンズタイム(欧ロベルト系)

祖母父:米ボールドルーラー系

牝系ファミリーにはベガを筆頭にした

ダービー馬アドマイヤベガの他マイルG1馬が3頭。

血筋としてはG1でも見劣らない格を持っております。

前走ではソングラインとシュネルマイスターを抑えて優勝。

ここで勝つには、もう少し欧ノーザンダンサー系の血が欲しい印象ですが、上位争いに加わる可能性が極めて高い1頭だと判断しております。

また、主戦の西村Jは京都の1600m以上で超一流の成績を残しており、人馬共にG1初制覇となれば実におめでたい事と存じます。

・ジャスティンカフェ【要警戒】

父:エピファネイア(欧ロベルト系)

父母父:スペシャルウィーク(Tサンデー系)

母父:ワークフォース(欧キングマンボ系)

祖母父:サンデーサイレンス

欧サドラーズウェルズの4×4クロスを保持

4L系統にノーザンダンサー系は持ちませんが
サドラーズウェルズのクロスを持っており、
また、欧州色が濃い配合馬ですので、
要注意血統馬と考えるべきかも知れません。

キャリア16戦の内、13戦で上り2位以内の
末脚を発揮しており、去年の当レースでも上り2位で
3着馬に0秒1差と惜しい競馬をしていました。
この時は外が伸びる馬場で、内に潜り込んだ事が
裏目に出てしまう皮肉な結果でした。

馬場の有利なコース取りが上手い
坂井瑠星Jへの乗り替りと、トップスピードに
乗せやすい京都開催で更なる警戒を。

・シュネルマイスター 【勝ち負け】

父:キングマン(欧ダンチヒ系)

父母父:欧ミスプロ系

母父:欧サドラーズ系

祖母父:欧グレイソヴリン系

母セリエンホルデは独オークス(2200m)優勝馬で、サリオス・サラキアの母サロミナとは従姉妹同士。

ドイツ牝系である事を考えますと

ベストな条件は直線が長い非根幹距離。

つまり、東京1800mがこの馬にとって最適コースと考えられますが、1800mにG1が存在しない日本では、東京か京都のマイルが最適であろうと考えます。

特に、エンジンの掛かりが遅いこの馬には、

3角から下って十分に加速できる新装京都1600mはベストな舞台。

前走はルメール殿には珍しく、進路を探してカニ走りと言うロスがテンコ盛りのレースで3着に敗れましたが、普通に外を通れていれば、恐らく勝っておったのでしょうか。

ルメール殿が2戦続けて下手を売る事は無さそうで、勝ち負け濃厚な存在でございましょう。

・セリフォス 【上位争い】

父:ダイワメジャー(Pサンデー系)

父母父:欧ノーザンテースト

母父:欧ブラッシンググルーム系

祖母父:欧ヌレイエフ系

4L系統に3ラインの欧州血統で、ノーザンダンサー系が2本。

このレースを勝つのにふさわしい配合馬と申せましょう。

ただ、ダイワメジャー×欧ナスルーラ系の配合は、
京都1600よりも阪神1600がベストになる配合でございます。

↓↓↓

芝1600m勝ち星シェア

阪神:34.8%

京都:17.4%

だからと言って京都だから消し!

とはならないのでございますが・・・

京都開催のマイルチャンピオンSで、ダイワメジャー産駒が
馬券に絡んだのは、13年2着ダイワマツジョーレが最後になります。

・セルバーグ

父:エピファネイア(欧ロベルト系)

父母父:スペシャルウィーク(Tサンデー系)

母父:キンシャサノキセキ(Pサンデー系)

祖母父:米ヒムヤー系

欧州色が薄く、能力的にも格下の存在。

メンバー唯一の逃げ馬という事で、展開に恵まれてどこまで？

・ソウルラッシュ【3列目押え】

父:ルーラーシップ(欧キングマンボ系)

父母父:トニービン(欧グレイソヴリン系)

母父:マンハッタンカフェ(Tサンデー系)

祖母父:米ストームキャット

ルーラーシップ産駒は京都1600mは未勝利で

期待値も低く狙いにくい血統になります。

この配合馬がマイル重賞でこれだけ実績を

残している事には首をかしげたくになります・・・

昨年はソダシと同タイム4着で、シュネルマイスターには先着。

ただ、良馬場発表でも路盤が緩く、シュネルマイスターが

能力を発揮出来ない馬場であった事は忘れてはならないでしょう。

今年はモレイラ様が乗る事で、能力以上に人気しそうな気配ですが、

今週末の京都は雨の心配が無さそう。

軽い馬場になれば、少なくともシュネルマイスターに先着できる程の存在には思えないのが正直な印象。

・ソーヴァリアント【3列目押え】

父:オルフェーヴル(Tサンデー系)

父母父:メジロマックイーン(欧トウルビヨン系)

母父:シンボリクリスエス(欧ロベルト系)

祖母父:欧フェアリーキング

母ソーマジックは桜花賞3着馬。

半姉マジックキャッスルはヴィクトリアマイル3着馬。

前走は初めてのマイル戦であり、

経験の少ない左回りでしたが、G2で3着。

前半1000m通過が56秒台という速い流れであった事を考えれば、よく頑張ったと思います。

今回は、走りなれた右回りで良績を残す休み明け2戦目。

もう少し末脚を使える展開になれば、馬券圏内紛れ込みも。

・ダノンザキッド【要注意】

父:ジャスタウェイ(Pサンデー系)

父母父:米ニアークティク系

母父:欧デインヒル系

祖母父:欧エタン系

阪神開催でしたが、21年・22年の好走馬。
マイルCSはリピーターが出現しやすいレースでございます。
京都開催に戻ってどうか？という疑問も残りますが・・・

この馬の弱点は

- ・長距離輸送
- ・暑さ

この2つであり、距離は2000mが上限。

関西圏で行われたレースで馬券圏外は宝塚記念のみ。
他は全て馬券に絡む堅実さを誇っております。

父のジャスタウェイは4歳の秋天で優勝、5歳でG1を2勝、
ジャパンカップで2着と、いきなりスーパーホースに
成長した馬で、ハーツクライ産駒晩成説はジャスタウェイが
創り出した定説となっております。

本馬は、出世レースの東スポ2歳Sの勝ち馬であり、
すでにG1ホープフルSを勝ってはおりますが、

このあたりで「もう一華」があっても驚けません。

ここまでナメられた人気なら、
積極的に大阪杯3着の2匹目のドジョウを狙います。

得意の中枠を引ければ、この馬が本命候補になります。

・ダノンスコーピオン

父：ロードカナロア(欧キングマンボ系)

父母父：米ストームキャット

母父：スライゴベイ(米サドラーズ系)

祖母父：カロ系(欧グレイソヴリン系)

昨年のマイルチャンピオンSのレース後に
川田Jが「馬体のバランスが変化している」
と、コメントしていたように、今ではマイル路線は
距離が長く、スプリント路線かダート路線への
転向を楽しみにしている存在でございます。

・ナミュール【3列目押え】

父：ハービンジャー(欧デインヒル系)

父母父:欧ネイティヴダンサー系
母父:ダイワメジャー(Pサンデー系)
祖母父:米ヴァイスリージェント系

3年連続でリピートしたペルシアンナイトと同じ父。

モレイラ→ムーア乗り替りの大人の事情に興味は尽きませんな。

モレイラと言えば、ノーザンファームの助っ人外人。
それが、G1で何故か下河辺牧場生産のソウルラッシュに・・・

ナミュールはこれまで叩き2戦目は4戦して全滅。
休み明け激走の反動が出やすいタイプであるのは
間違いのない所でございます。

叩き2走目でG1への格上げ戦となると
ムーア様騎乗と言えども主力扱いは迷うところ。

もともと、マイルG1での好走経験がない点も含め
3列目押えが妥当ではないかと愚考致します。

・バスラットレオン

父:キズナ(ディープ系)
父母父:米ストームキャット
母父:欧サドラーズ系
祖母父:欧ダンチヒ系

血統の字面だけ見れば、欧州型ノーザンダンサー系を
母系に2ライン持つディープ系種牡馬産駒で、
買わなきゃ！となりますが…

3歳春までのような芝への適応力は陰ってしまい、
今ではすっかりダート馬でございますな。

血統だけで押さえない衝動は打ち消して
今回は静観の構えでございます。

・ビーアストニッシド
父:アメリカンペイトリオット(米ダンチヒ系)
父母父:米インリアリティ系
母父:ネオユニヴァース(Dサンデー系)
祖母父:キングカメハメハ(欧キングマンボ系)

米国型血統を父に持つ馬の宿命とも言える

「古馬になれば短距離化・ダート化」

この宿命から逃れられなかった馬でございますな。

2走前のように距離を詰めれば

OP特別で好走も可能ですが、マイルG1のここでは…

・マテンロウオリオン 【3列目押え】

父:ダイワメジャー(Pサンデー系)

父母父:欧ノーザンテースト

母父:キングカメハメハ(欧キングマンボ系)

祖母父:トニービン(欧グレイソヴリン系)

ダイワメジャー産駒なので、

好位で粘る競馬が合っているのでしょうか、

いかんせんゲートが遅く、ポジションが獲れないタイプ。

理想はシンザン記念を勝った時のような競馬でしょうか。

何かの間違いで、ポンッと出れば前で残る可能性も。

・レッドモンレーヴ 【3列目押え】

父:ロードカナロア(欧キングマンボ系)

父母父:米ストームキャット

母父:ディープインパクト

祖母父:トニービン(欧グレイソヴリン系)

ダイナカール牝系の良血馬ですが、

この牝系から出る牡馬は中長距離が本領のタイプ。

雄大な馬格と、父の血統を考えれば

マイル以下で通用するのは不思議ではないものの、

配合コンセプトが中途半端な結果を生んだような気がしますな。

とは言え、母父ディープインパクトらしい

末脚の切れ味を持っておりますので、

G1でも貫目負けせず(他馬にビビらず)

展開と馬場に恵まれれば、馬券圏内もありそう。